

## 国際連系送電線事業の融資契約締結 ～「ノイコネクト英独連系線」プロジェクト～

2022年7月22日  
関西電力株式会社

当社が参画しているイギリスとドイツを結ぶ初の国際連系送電線プロジェクト「ノイコネクト英独連系線」の事業会社は、7月21日、金融機関と融資契約を締結しました。本プロジェクトは今後、本格工事に着手し、2028年の運転開始を目指します。

本プロジェクトによって英独両国間での電力融通が直接可能となり、両国におけるエネルギーセキュリティの向上に貢献します。また、再生可能エネルギー発電で生じた余剰電力を融通することで、ゼロカーボン化にも貢献します。本プロジェクトにより、運転開始後の25年間で合計約1,300万tのCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献する見込みです。

当社グループは、日本の電力会社が参画する初の国際連系線プロジェクトである本プロジェクトを通じて、両国のエネルギーセキュリティの向上及びゼロカーボン化に貢献してまいります。

以上

### <ノイコネクト英独連系線（概要）>

事業実施場所	英国東部とドイツ北部の間
送電方式	超高压直流システム
送電電圧・容量	50万V・140万kW
送電線延長	約725km
事業会社	ノイコネクトブリテン社、 ノイコネクトジャーマン社等
出資者	関西電力グループ : 18.3% メリディアン : 53.5% アリオンツキャピタルパートナーズグループ : 26.2% グリーンエイジパワーグループ : 2.0%

### <位置図>



別紙：当社の海外事業一覧

参考：[「ノイコネクト英独連系線」プロジェクトへの参画について（2018年2月28日お知らせ済み）](#)

< 融資契約締結の式典の様子 >

本プロジェクトは英独両国のエネルギー・環境問題に大きく貢献することから、式典には、英国政府 エネルギー・クリーン成長・気候変動担当大臣および駐英国ドイツ大使にご臨席いただきました。

(写真左から)

- ・ケビック・シーラント社 アムステルダム事務所長※ 田中 孝彦
  - ・メリディアンおよびノイコネクト代表 Julia Prescott (ジュリア・プレスコット)
  - ・英国政府 エネルギー・クリーン成長・気候変動担当大臣 Greg Hands (グレッグ・ハンズ)
  - ・駐英国ドイツ大使 Miguel Berger (ミゲル・バーガー)
  - ・アリアンツキャピタルパートナーズグループ代表 Andrew Cox (アントニョ・コックス)
  - ・関西電力株式会社 国際開発部門 事業開発部長 福島 敏
- ※撮影時はアムステルダム副事務所長



## 当社の海外事業一覧

### ＜稼働中案件：15件＞

件名	国名	概要	出力 (万 kW)	当社出資 比率	持分容量 (万 kW)
サンロケ水力 (1998. 12～)	フィリピン	ダム式水力発電所	43.5	50.0%	21.8 <sup>※1</sup>
名間水力 (2005. 3～)	台湾	流込式水力発電所	1.7	24.0%	0.4 <sup>※1</sup>
国光火力 (2006. 12～)	台湾	ガスコンバインドサイクル発電所	48.0	20.0%	9.6
ラジャマンダラ水力 (2012. 2～)	インドネシア	流込式水力発電所	4.7	49.0%	2.3 <sup>※1</sup>
セノコ火力 (2008. 9～)	シンガポール	ガスコンバインドサイクル発電所	280.7	15.0%	42.1
ブルーウォーターズ火力 (2013. 2～)	オーストラリア	石炭火力発電所	45.9	50.0%	23.0
ナムニアップ1水力 (2013. 5～)	ラオス	ダム式水力発電所	29.0	45.0%	13.1 <sup>※1</sup>
ウェストデプトフォード火力 (2016. 12～)	米国	ガスコンバインドサイクル発電所	76.8	17.5%	13.4
ヒッコリーラン火力 (2017. 8～)	米国	ガスコンバインドサイクル発電所	100.0	30.0%	30.0
エヴァレイアー陸上風力 (2017. 11～)	アイルランド	陸上風力発電所	22.3	24.0%	5.4 <sup>※1</sup>
アビエータ陸上風力 (2020. 7～)	米国	陸上風力発電所	52.5	48.5%	25.5 <sup>※1</sup>
メドコパワー社合弁事業 5箇所(2021. 4～)	インドネシア	ガス火力発電	20.2	36.0%	7.3
トライトンノール洋上風力 (2018. 8～)	英国	洋上風力発電所	85.7	16.0%	13.7 <sup>※1</sup>
モーレイイースト洋上風力 (2018. 11～)	英国	洋上風力発電所	95.3	10.0%	9.5 <sup>※1</sup>
ピーバリンマキ陸上風力 (2020. 4～)	フィンランド	陸上風力発電所	21.1	15.0%	3.2 <sup>※1</sup>
<b>合計</b>			—	—	<b>220.2<sup>※2</sup></b>

### ＜開発（建設）中案件（3件）＞

件名	国名	概要	出力 (万 kW)	当社出資 比率	持分容量 (万 kW)
タンジュンジャティB火力 (2022～運転開始)	インドネシア	石炭火力発電所	214.0	25.0%	53.5
アラヤルヴィ陸上風力 (2023～運転開始)	フィンランド	陸上風力発電所	22.1	49.0%	10.8 <sup>※1</sup>
ボークムリフグルンド3 洋上風力 (2025～運転開始)	ドイツ	洋上風力発電所	90.0 <sup>※3</sup>	3.5%	3.4 <sup>※1</sup>
【参考】 セントジョセフ2号火力	米国	ガスコンバインドサイクル発電所	(71.0)	(20.0%)	(14.2)
<b>合計</b>			—	—	<b>67.7<sup>※2</sup></b>

<送電事業の参画案件：1件>

件名	国名	概要	送電容量 (万kW)	当社持分
ノイコネクト英独連系線 (2018.2~)	英国・ドイツ	国際連系送電線	140.0	18.3%

<配電・小売事業の参画案件：2件>

件名	国名	概要	設備概要	当社持分
ニュークラーシティ 配電・小売事業 (2019.4~)	フィリピン	配電網の構築、 保守および電力小売	送電線、変電所、 地中配電線、 スマートメーター	9.0%
エレクトリシティ・ ノース・ウエスト社 (ENW社) 配電事業 (2019.7~)	英国	英国中西部で約 240万軒(約500 万人)の顧客への 配電事業	架空線 約12,700km、 地中線 約44,700km 変電所96箇所	22.0%

※1：再生可能エネルギー発電事業。海外における再生可能エネルギー発電事業の持分容量の合計は、約109.0万kW。

※2：関西電力の海外事業における持分容量の合計は、約287.8万kW。

※3：送電端出力。

※値は全て小数点第2位を四捨五入した概算値であり、合計値と一致しない場合がある。